

## 各務原市の PFOS/PFOA に関する専門家会議（第 4 回）【議事概要】

- 1 日 時：令和 8 年 7 月 3 0 日（木） 1 0：0 0～1 1：4 0
- 2 場 所：県庁 2 0 階 2 0 0 4 会議室
- 3 委 員：4 名中 4 名出席  
神谷 浩二 岐阜大学工学部社会基盤工学科教授（座長）  
村野 宏達 名城大学農学部生物環境科学科教授  
小島 悠揮 岐阜大学工学部社会基盤工学科准教授  
廣岡佳弥子 岐阜大学環境社会共生体研究センター准教授
- 4 事務局：岐阜県環境エネルギー生活部環境管理課長 他  
各務原市市民生活部環境政策課長 他
- 5 議 事：令和 7 年度井戸水等の継続モニタリングの結果について  
令和 8 年度井戸水等の継続モニタリングの計画について  
PFAS 使用・保管実績のアンケート・ヒアリング調査結果について

### <委員からの意見>

（令和 7 年度井戸水等の継続モニタリングの結果及び令和 8 年度の計画について）

- 豊水期と渇水期の PFAS 濃度は経年的に横ばいで推移しており、PFOS/PFOA の目標値等の超過範囲に広がり認められないが、継続モニタリングによる監視を実施することにより、超過範囲の把握に努められたい。あわせて、井戸水の利用状況を調査し、地下水の挙動に関わる情報の収集に努められたい。
- 三井水源地の周辺に濃度が高いエリアが 1 つあり、さらにその南、市の東にそれぞれ別のエリアが確認できる。地下水は概ね北東から南西へ流れていると推測されるが、これら大きく 3 つのエリアに分けて、状況を考えていく必要がある。
- 令和 8 年度の継続モニタリング計画は、令和 7 年度の調査地点に井戸 1 地点及び水路 2 地点を追加した案（井戸 4 6 地点、河川等 1 8 地点）のとおりに実施することです承する。
- 目標値等の超過が確認された水路について、原因を整理する必要がある。水路の上流では、目標値等の超過が確認された井戸があるため、周辺の

井戸水等の利用状況に加えて排水に係る調査が必要と考えられる。

また、水路の再調査において超過が確認できなかったことについて、検証可能とするため、採水方法や調査内容を検討することが望ましい。

- 継続モニタリング、モニタリング地点の井戸の利用状況調査及び各務原市が実施する水道水の水質改善対策の状況等を踏まえて、今後の継続モニタリングを効果的に実施するよう検討されたい。

(PFAS 使用・保管実績のアンケート・ヒアリング調査結果について)

- 新たに PFOS/PFOA の保管が確認された事業場について、すべてセルフガソリンスタンドでよいか。

→調査範囲のセルフガソリンスタンドを再確認したほか、昨年度の水質調査の範囲におけるアンケート調査を実施した結果、新たに PFOS を含有する泡消火薬剤を保管するセルフガソリンスタンド 2 事業場を確認している。既報告の 2 事業場を含めた 4 事業場に対し、環境省及び消防庁で作成されたパンフレットを配布し、保管・使用の注意、早期の代替薬剤への交換を説明した。

- ヒアリング調査が完了していない事業者については、引き続き調査への協力を要請されたい。

- 目標値等の超過が確認された地域に対する充実したヒアリングの実施に努められるとともに、その際には、国の動向に係る状況、効果的な PFAS 対策等について情報提供を図られたい。